

1. 令和6年度 学校教育自己診断 集計結果

対象	生徒					保護者					教職員				
	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5
回答数	447	354	325	308	362	208	219	131	181	96	57	45	55	47	41
総数	575	575	535	519	522	575	575	535	519	522	59	58	60	58	59
回答率(%)	77.7%	61.6%	60.7%	59.3%	69.3%	36.2%	38.1%	24.5%	34.9%	18.4%	96.6%	77.6%	91.7%	81.0%	69.5%

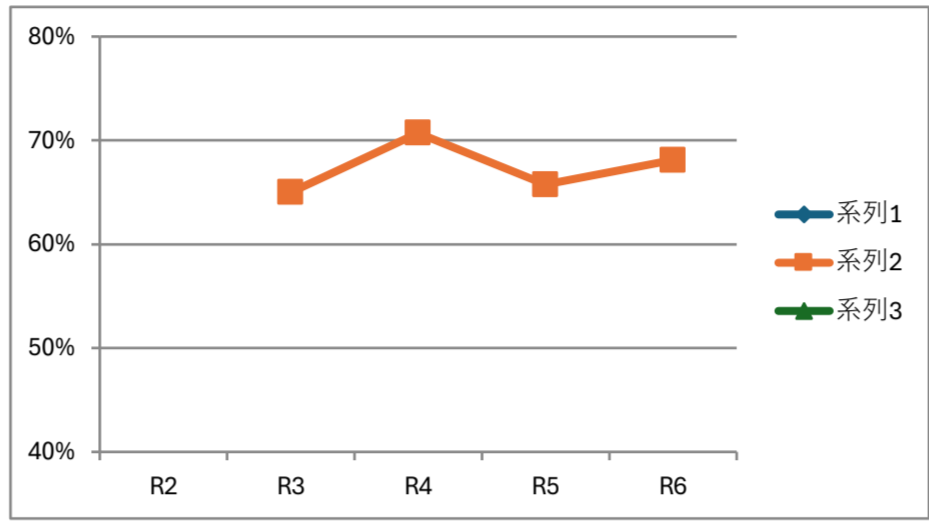
項目1 全体
1. 生徒 学校に行くのが楽しい。
1. 保護者 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。
1. 教職員 生徒は学校生活に満足している。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	56.0%	58.2%	64.9%	59.8%	63.5%
保護者	60.7%	61.0%	59.2%	60.8%	63.5%
教職員	52.1%	45.2%	55.2%	51.1%	62.6%



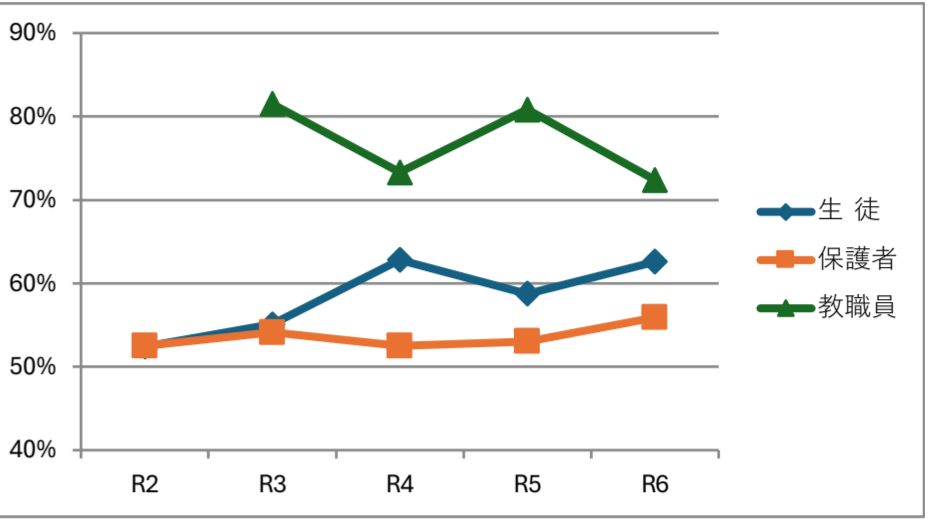
項目2 全体
2. 保護者 先生は、子どもを理解している。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
保護者		65.0%	70.7%	65.7%	68.1%



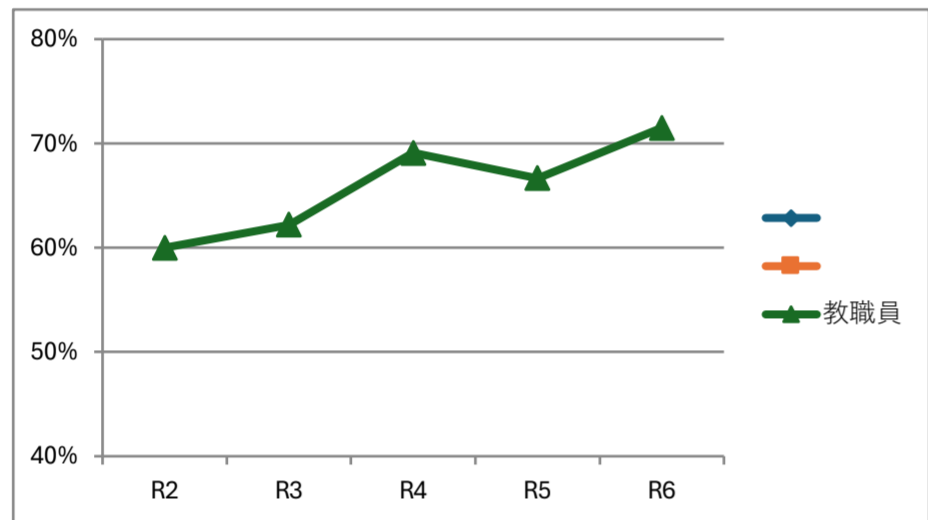
項目3 教務部
2. 生徒 授業はわかりやすく楽しい。
3. 保護者 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。
2. 教職員 生徒の学習意欲に応じて、学習指導の方法や内容について、工夫している。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	52.4%	55.1%	62.8%	58.8%	62.6%
保護者	52.5%	54.1%	52.5%	53.0%	55.9%
教職員		81.5%	73.3%	80.9%	72.4%



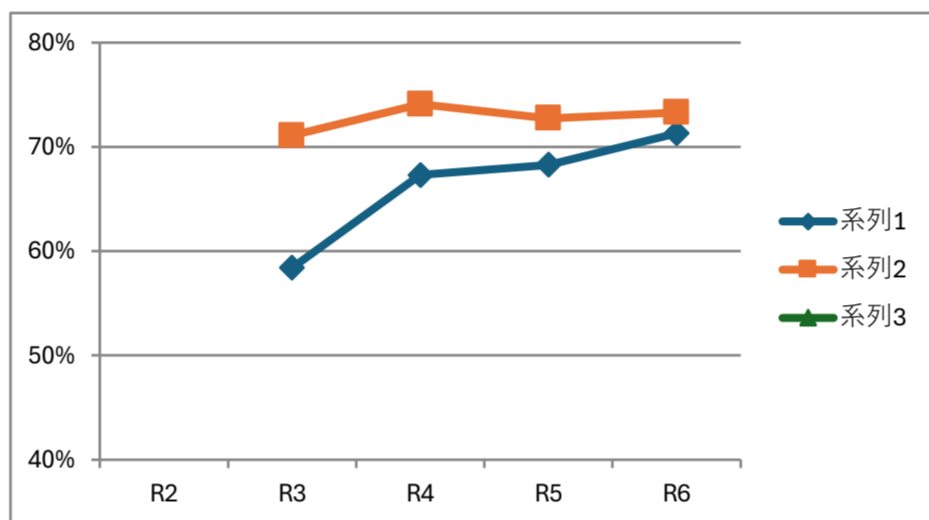
項目4 教務部
3. 教職員 教員の間で、授業方法などについて検討する機会を積極的にもっている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員	60.0%	62.2%	69.1%	66.7%	71.5%



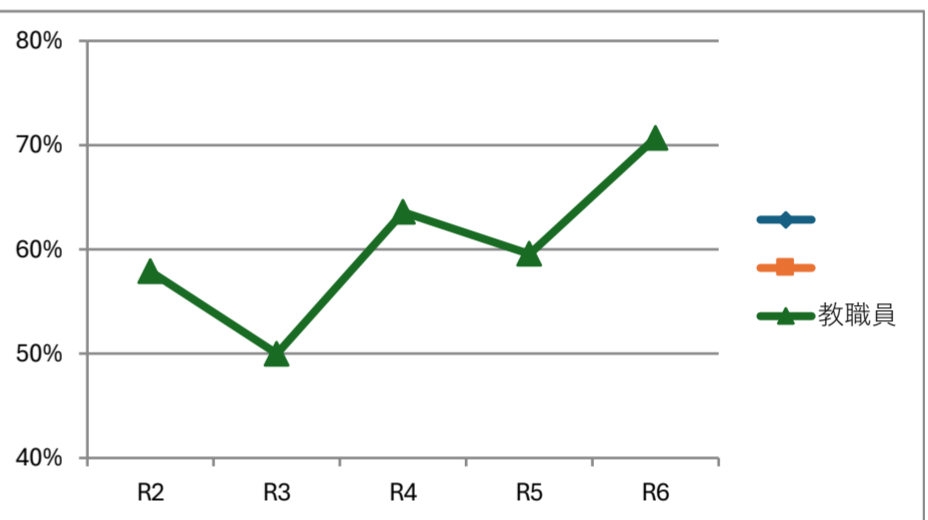
項目5 教務部
3. 生徒 生徒が努力したことをほめてくれる。
4. 保護者 先生は子どもの頑張りを理解してくれる。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒		58.4%	67.3%	68.3%	71.3%
保護者		71.1%	74.1%	72.7%	73.3%



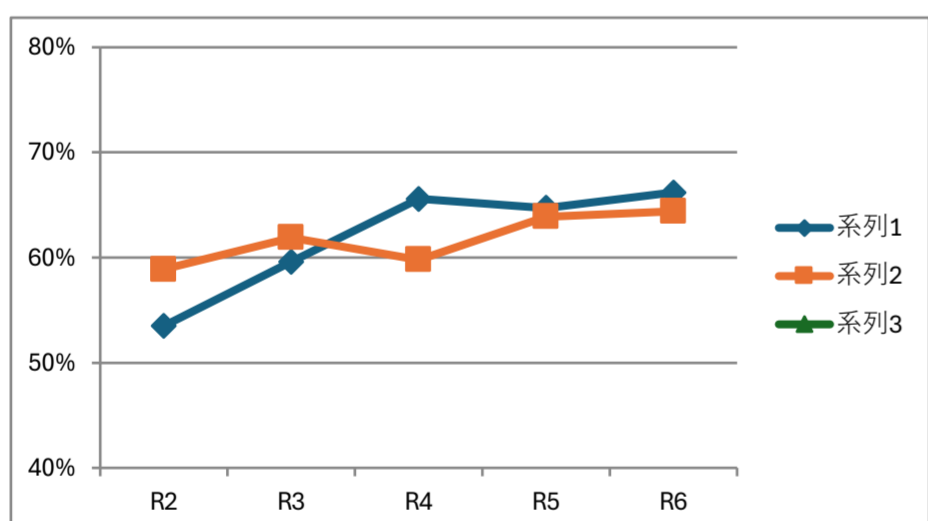
項目6 教務部
4. 教職員 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の評価に生かしている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員	57.9%	50.0%	63.6%	59.6%	70.7%



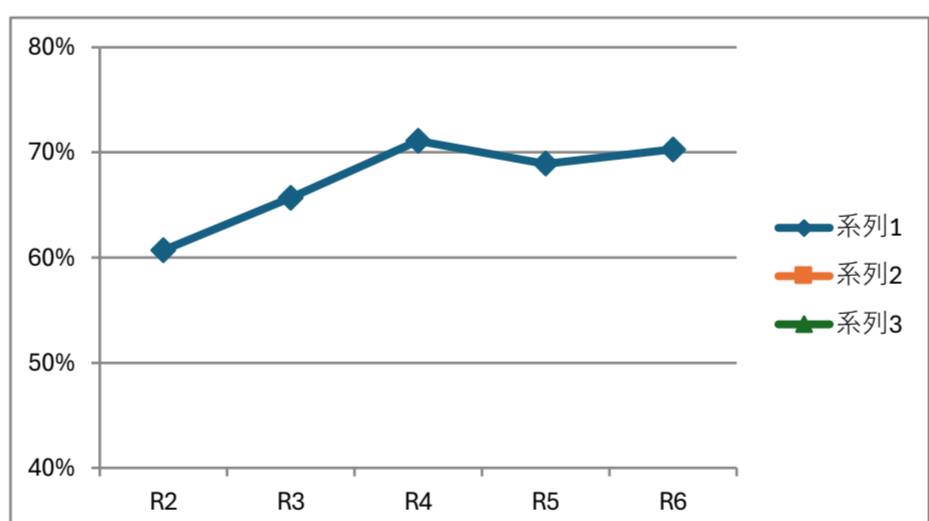
項目7 教務部
4. 生徒 セットや選択科目は、自分の学びたいことが準備されている。
5. 保護者 選択授業は、子どもの興味や関心、進路希望にあっている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	53.5%	59.6%	65.6%	64.7%	66.2%
保護者	58.9%	61.9%	59.8%	63.9%	64.4%



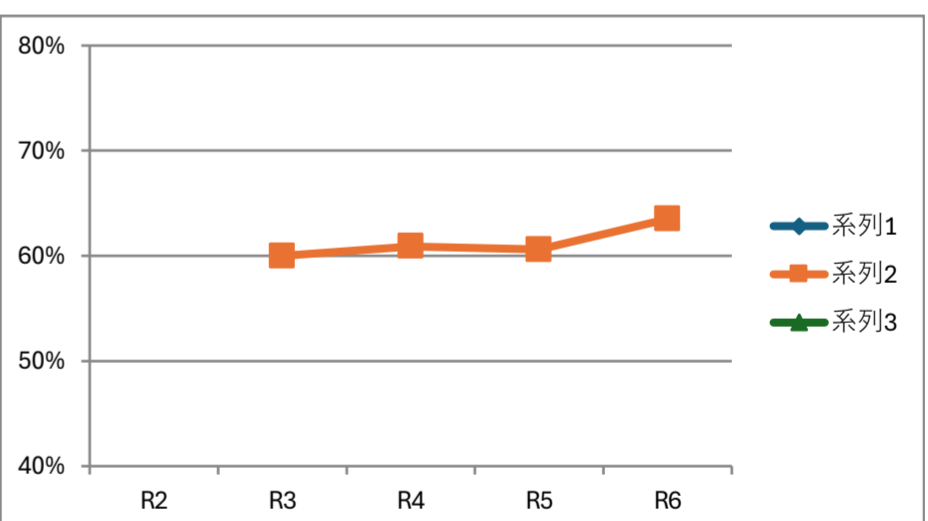
項目8 進路指導部
5. 生徒 将来の進路や生活について、考えることがある。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	60.7%	65.7%	71.1%	68.9%	70.3%



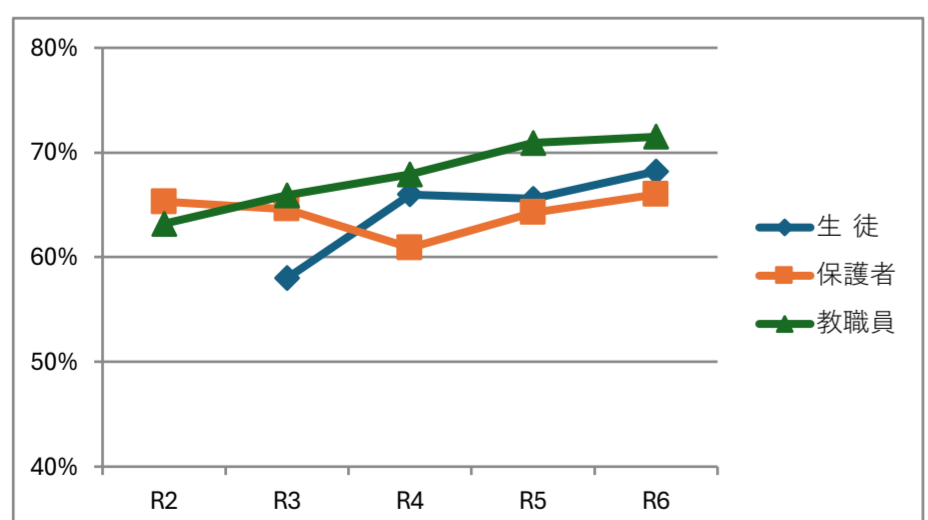
項目9 進路指導部
6. 保護者 学校は、進路に関して、家庭への連絡や情報提供を行っている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
保護者		60.0%	60.9%	60.6%	63.5%



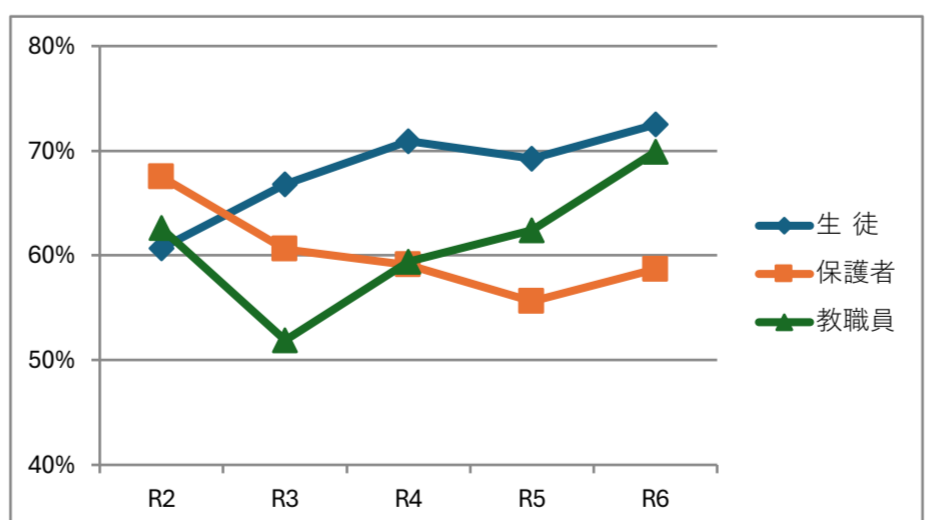
項目10 進路指導部
6. 生徒 先生の進路指導はわかりやすい。
7. 保護者 学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。
生徒一人ひとりが、興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。
5. 教職員

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒		58.0%	66.0%	65.6%	68.2%
保護者	65.3%	64.6%	60.9%	64.3%	66.0%
教職員	63.2%	65.9%	67.9%	70.9%	71.5%



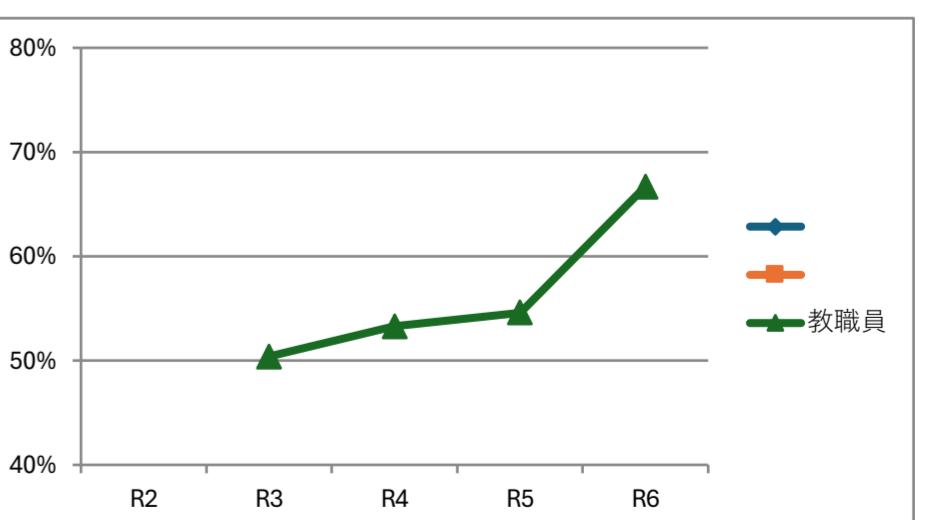
項目11 生徒指導部
7. 生徒 命の大切さや社会のルールについて、学んでいる。
8. 保護者 学校で命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会があると感じている。
6. 教職員 命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会を作っている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	60.7%	66.8%	70.9%	69.3%	72.5%
保護者	67.5%	60.6%	59.1%	55.6%	58.7%
教職員	62.6%	51.9%	59.4%	62.4%	69.9%



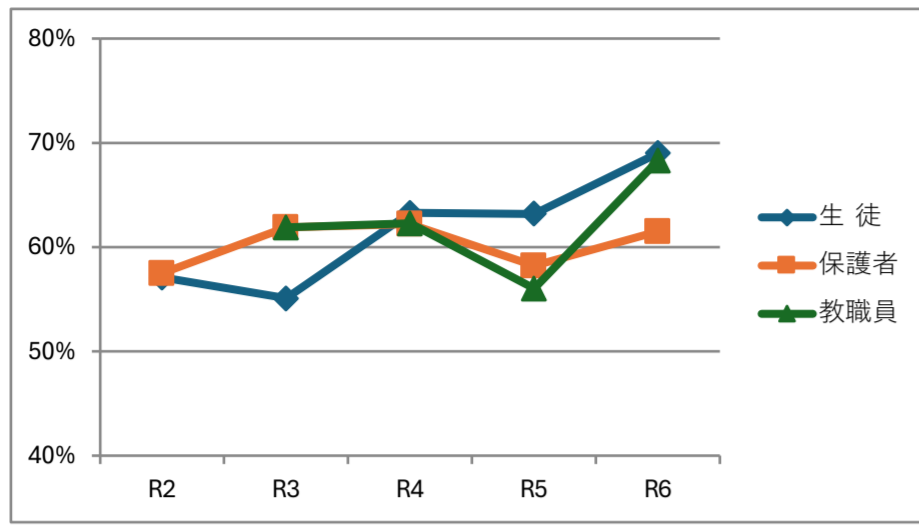
項目12 生徒指導部
7. 教職員 校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員間で話し合う機会がある。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員		50.4%	53.3%	54.6%	66.7%



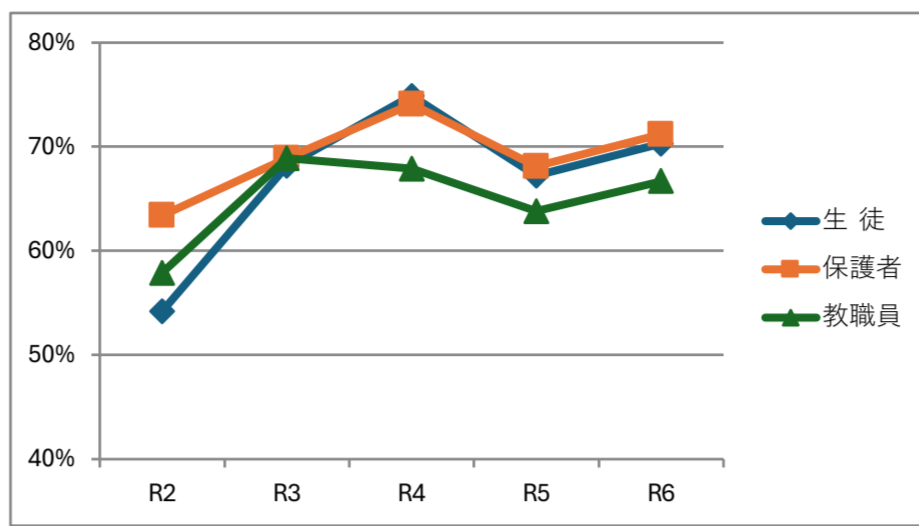
項目13 生徒指導部	8. 生徒 学校生活について、先生の指導は納得できる。 9. 保護者 学校の生徒指導の方針に共感できる。 8. 教職員 この学校では、生徒・保護者に対し、納得感のある生徒指導を行っている。
---------------	--

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	57.1%	55.1%	63.3%	63.2%	69.0%
保護者	57.5%	61.9%	62.2%	58.2%	61.5%
教職員		61.9%	62.3%	56.0%	68.3%



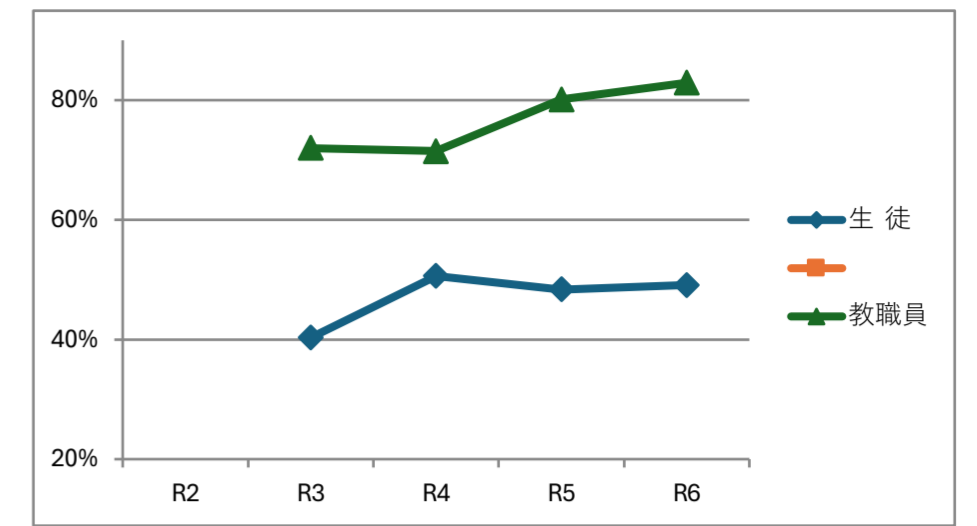
項目14 生徒会	9. 生徒 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しい。 10. 保護者 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は楽しそうに参加している。 9. 教職員 学校行事(遠足・文化祭・体育祭・修学旅行など)は生徒にとって魅力のあるものになっている。
-------------	---

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	54.2%	68.2%	74.9%	67.2%	70.3%
保護者	63.4%	68.9%	74.1%	68.1%	71.2%
教職員	57.9%	68.9%	67.9%	63.8%	66.7%



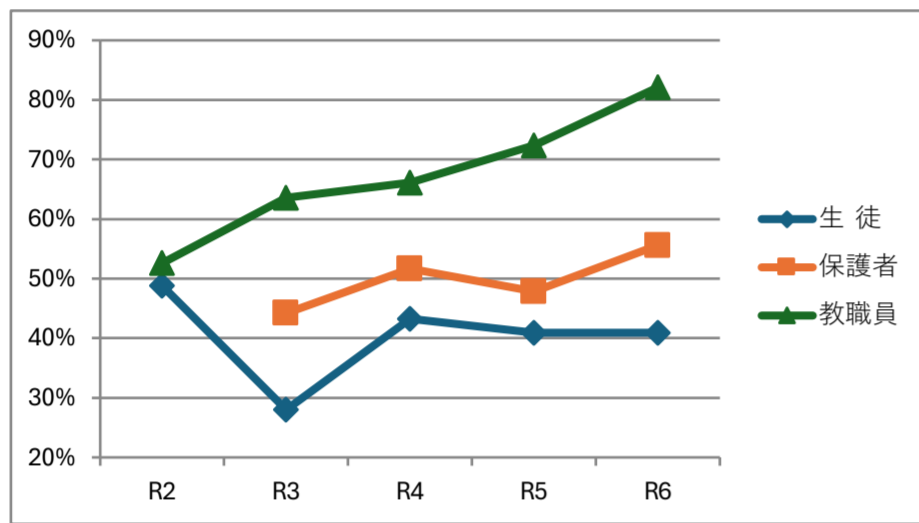
項目15 生徒会	10. 生徒 クラブ・校内イベント(国際交流、学校説明会など)や生徒会に参加したことがある。 10. 教職員 生徒との対話的な活動に力を入れている。
-------------	---

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒		40.3%	50.6%	48.4%	49.1%
保護者					
教職員		72.0%	71.5%	80.1%	82.9%



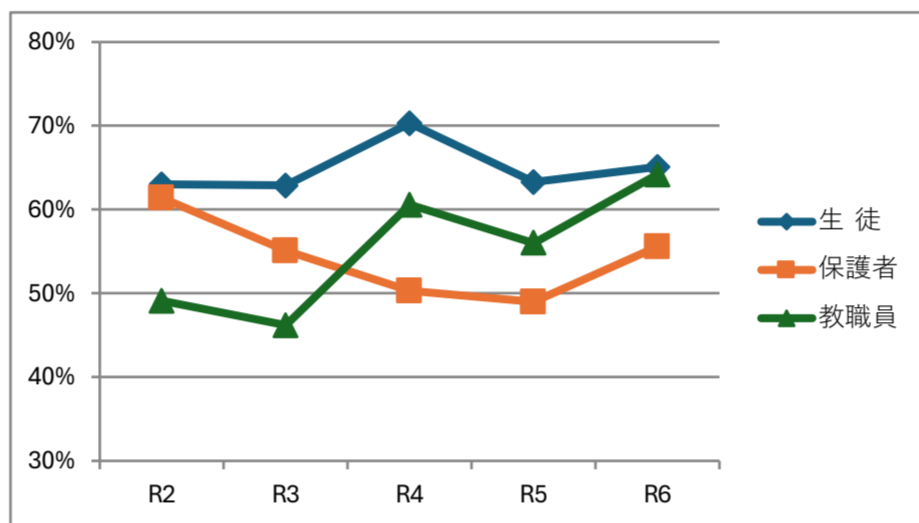
項目16 生徒会	11. 生徒 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、校外の人と一緒にいることができる。 11. 保護者 学校でボランティア活動や体験活動などを通して、子どもが校外の人とかわる機会がある。 11. 教職員 学校はボランティア活動や体験活動など、地域とかわる機会を作っている。
-------------	--

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	48.8%	28.0%	43.3%	40.9%	40.9%
保護者		44.2%	51.7%	47.9%	55.6%
教職員	52.6%	63.6%	66.1%	72.3%	82.1%



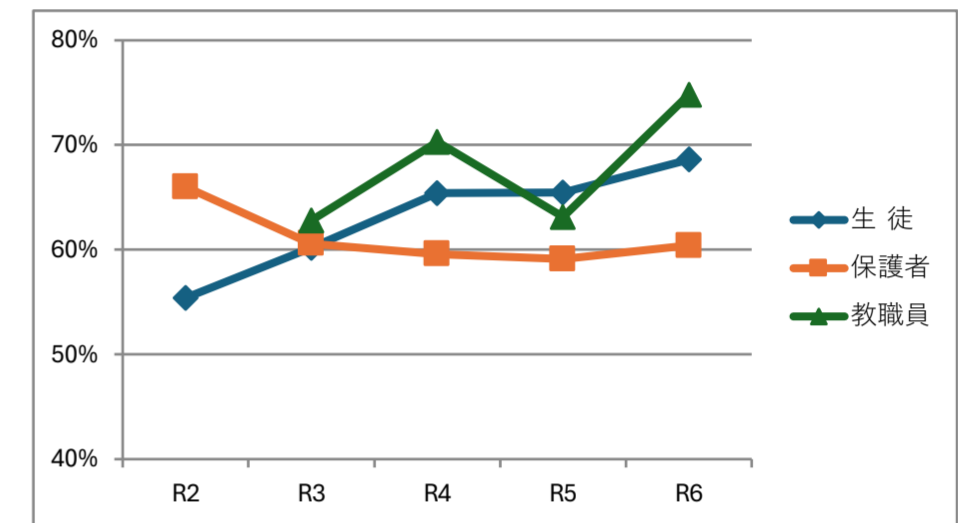
項目17 総務部	12. 生徒 学校での災害時に、どうすればよいかを知っている。 12. 保護者 学校での災害時に、どうすればよいかを子どもは知っている。 12. 教職員 学校での災害時の行動を、生徒に周知している。
-------------	---

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	63.0%	62.9%	70.3%	63.3%	65.1%
保護者	61.4%	55.1%	50.3%	49.0%	55.6%
教職員	49.1%	46.2%	60.6%	56.0%	64.2%



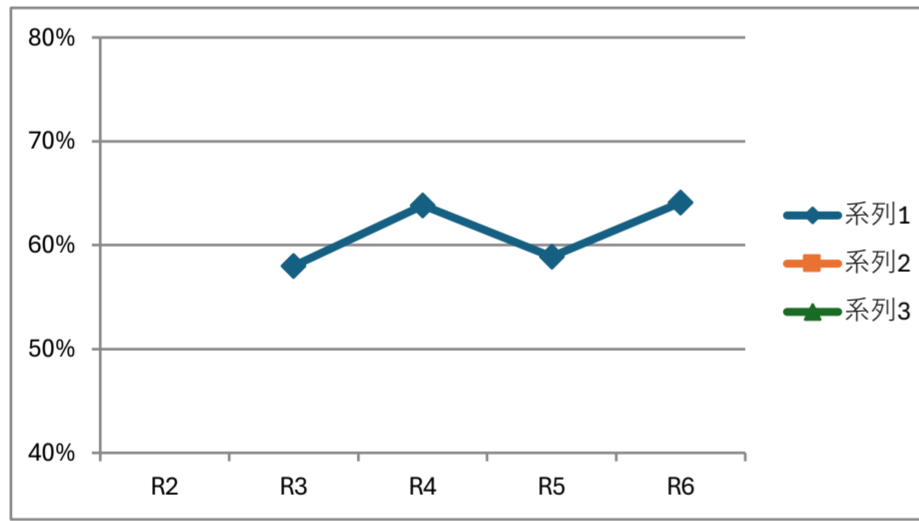
項目18 総務部	13. 生徒 先生は生徒の健康状態に気を配っている。 13. 保護者 先生は子どもの健康(食事・運動・睡眠等の体調)を気がつけてくれる。 13. 教職員 生徒の健康状態について把握できている。
-------------	--

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	55.4%	60.2%	65.4%	65.5%	68.6%
保護者	66.0%	60.6%	59.6%	59.1%	60.4%
教職員		62.8%	70.3%	63.1%	74.8%



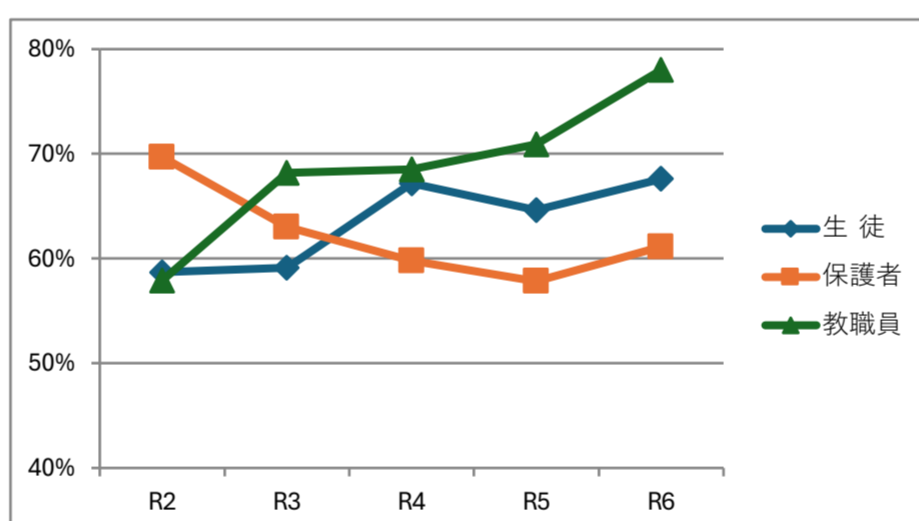
項目19 教育相談	14. 生徒 学校では、安心して生活ができる。
--------------	-------------------------

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒		58.0%	63.8%	58.9%	64.1%
保護者					
教職員					



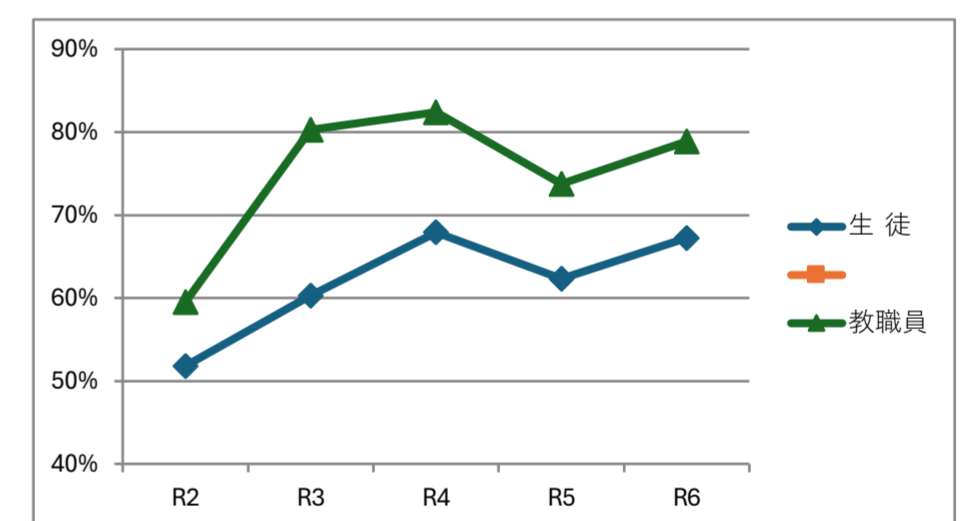
項目20 教育相談	15. 生徒 いじめ等について困っていることがあれば、先生は寄り添って対応してくれる。 14. 保護者 学校はいじめ等について、子どもの困っていることに寄り添って対応してくれる。 14. 教職員 いじめ等(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。
--------------	---

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	58.7%	59.1%	67.2%	64.6%	67.6%
保護者	69.7%	63.0%	59.8%	57.8%	61.1%
教職員	57.9%	68.2%	68.5%	70.9%	78.0%



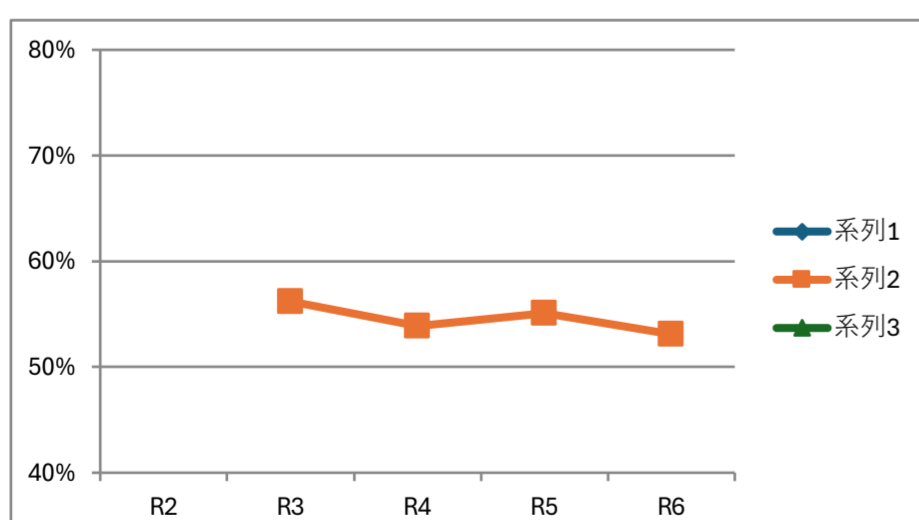
項目21 教育相談	16. 生徒 担任の先生以外にも、気軽に相談できる先生がいる。 15. 教職員 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。
--------------	--

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒	51.8%	60.3%	67.9%	62.3%	67.2%
保護者					
教職員	59.5%	80.3%	82.4%	73.8%	78.9%



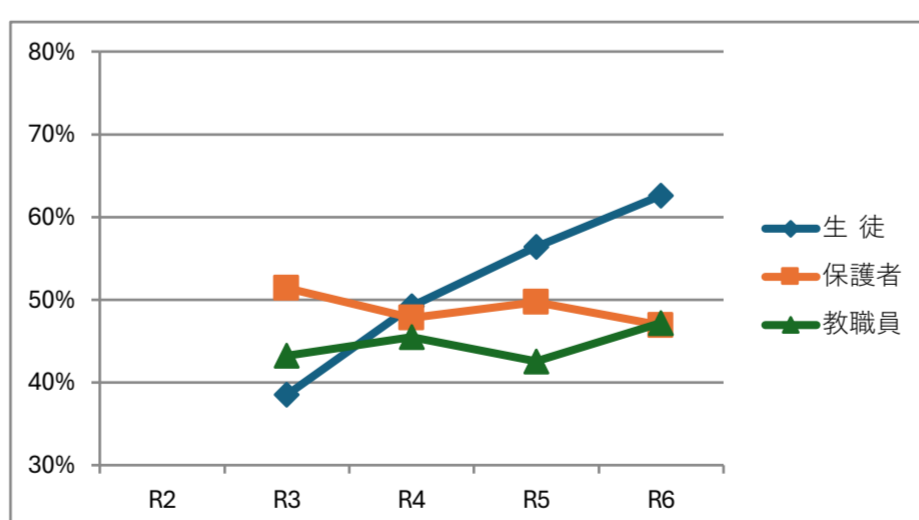
項目22 総務部(PTA)	15. 保護者 この学校の授業参観や学校行事に、関心がある。
------------------	--------------------------------

年度	R2	R3	R4	R5	R6
保護者		56.2%	53.9%	55.1%	53.1%
生徒					
教職員					



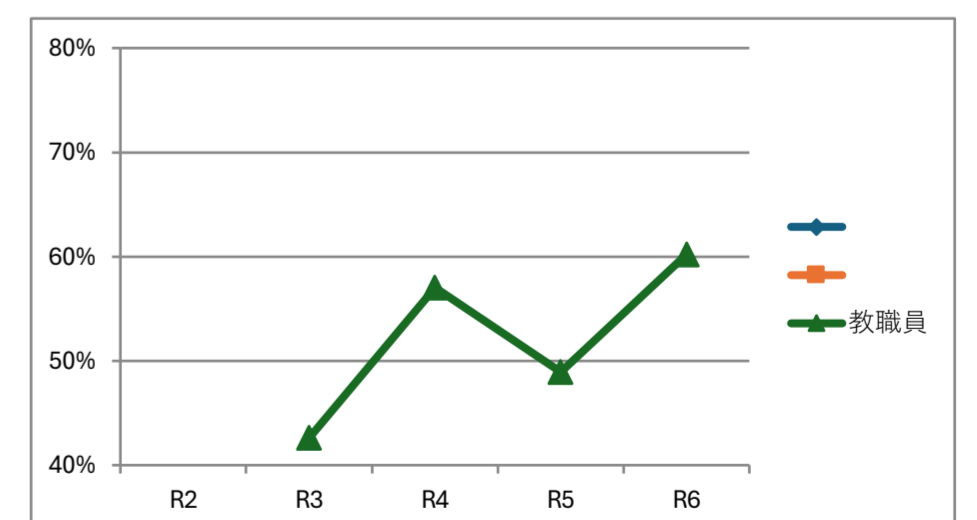
項目23 ICT	17. 生徒 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用している。 16. 保護者 家庭において、携帯電話やクロームブック使用に関するルールを話し合っている。 16. 教職員 学校で配付されたクロームブックを授業などで活用する機会を作っている。
-------------	--

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒		38.5%	49.2%	56.4%	62.6%
保護者		51.4%	47.8%	49.7%	46.9%
教職員		43.2%	45.5%	42.6%	47.2%



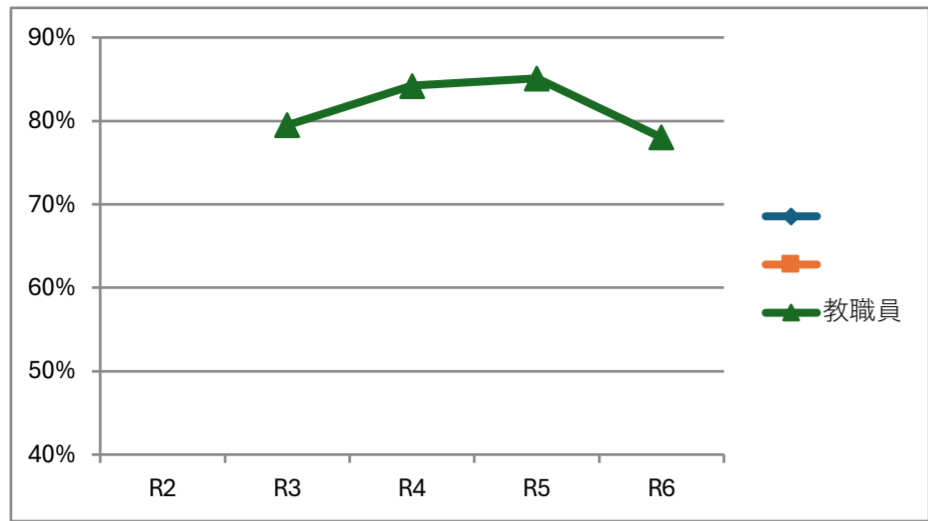
項目24 ICT	17. 教職員 この学校は、情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる。
-------------	--

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員		42.6%	57.0%	48.9%	60.2%
生徒					
保護者					



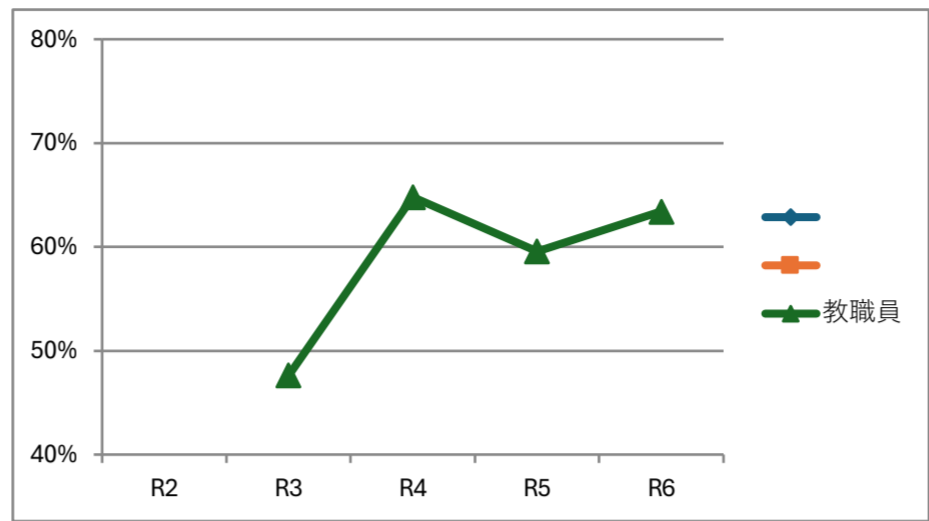
項目25	
全体・サービス	18. 教職員 生徒の個人情報を適切に管理している。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員		79.5%	84.2%	85.1%	78.0%



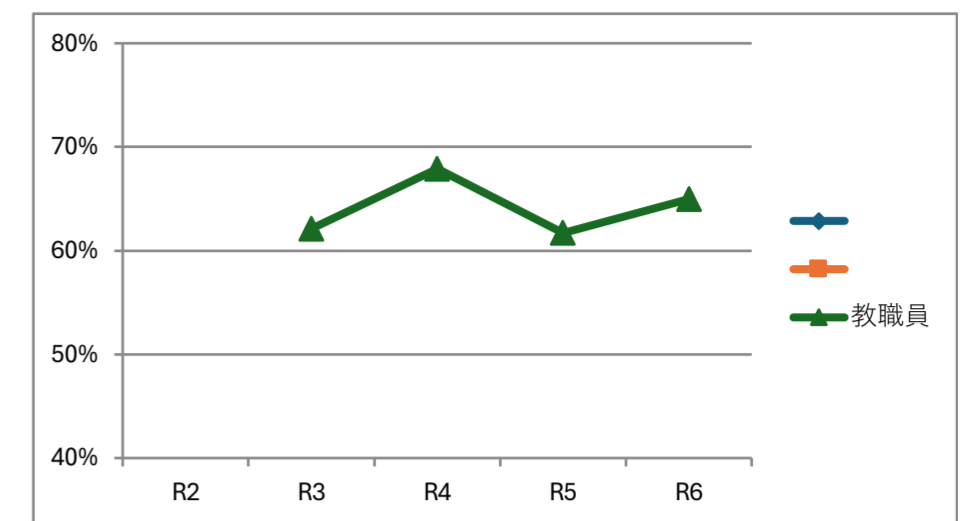
項目26	
全体・サービス	19. 教職員 学校から保護者あてに発行する文書について、決裁するシステムが生かされている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員		47.6%	64.8%	59.6%	63.4%



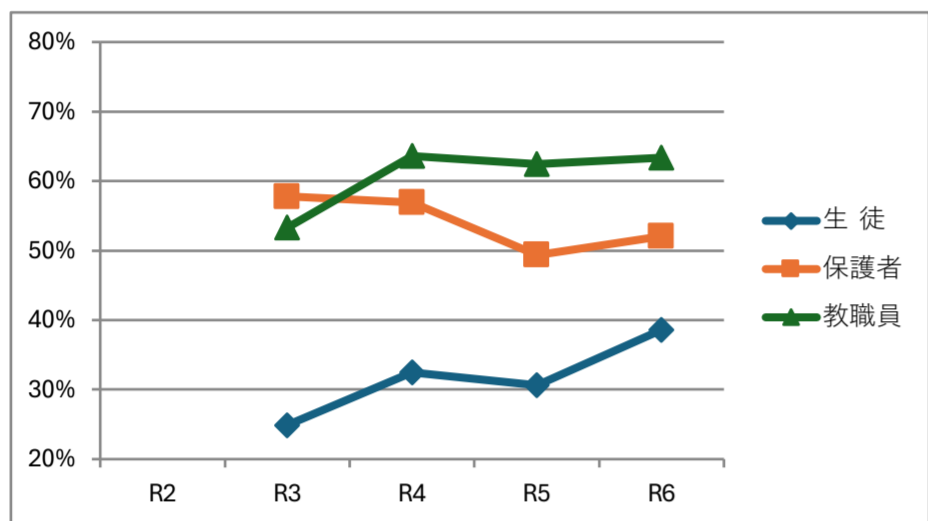
項目27	
地域連携	20. 教職員 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員		62.1%	67.9%	61.7%	65.0%



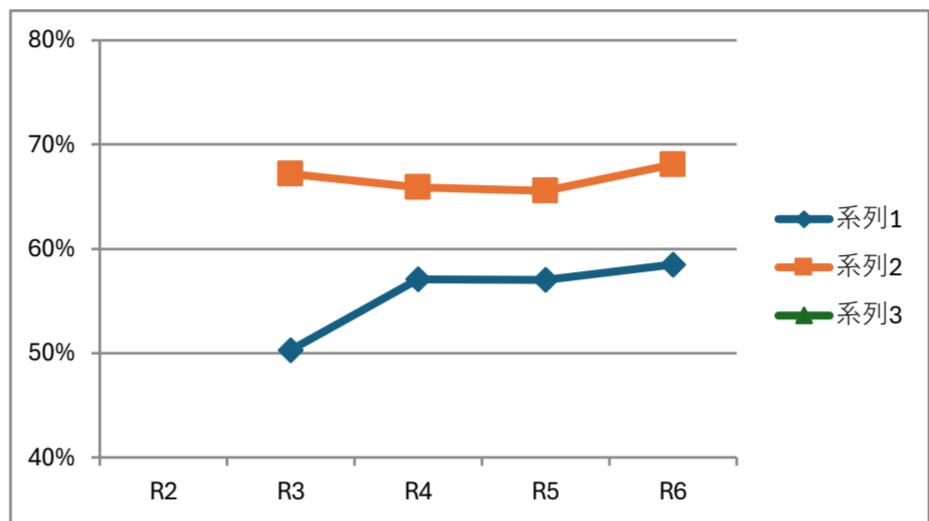
項目28	
全体	18. 生徒 学校のHPを見ることが多い。 17. 保護者 学校のHPは、いろいろな情報がわかりやすい。 21. 教職員 情報提供の手段として、学校のHPが組織的に活用されている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒		24.9%	32.5%	30.6%	38.6%
保護者		57.8%	56.9%	49.4%	52.1%
教職員		53.3%	63.6%	62.4%	63.4%



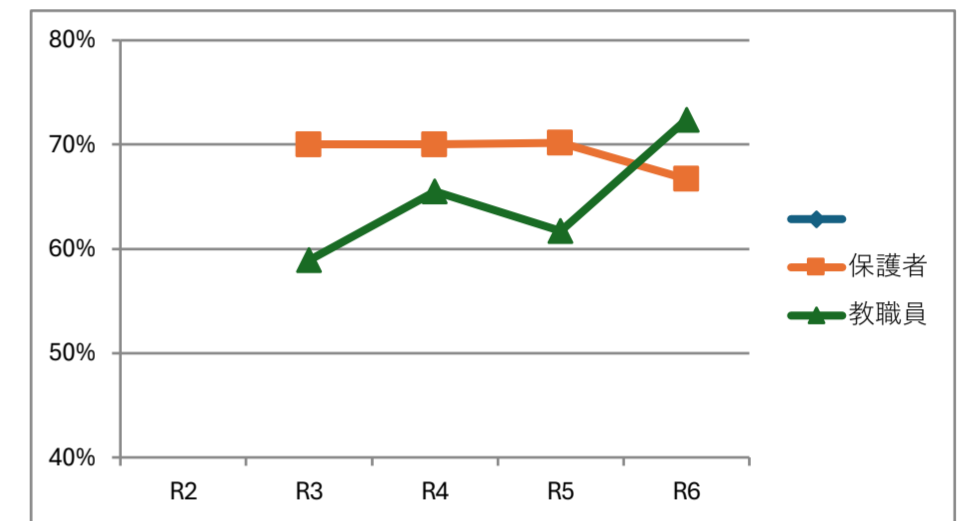
項目29	
全体	19. 生徒 家の人などに、学校のことについてよく話す。 18. 保護者 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は、適切である。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
生徒		50.3%	57.1%	57.0%	58.5%
保護者		67.2%	65.9%	65.6%	68.1%



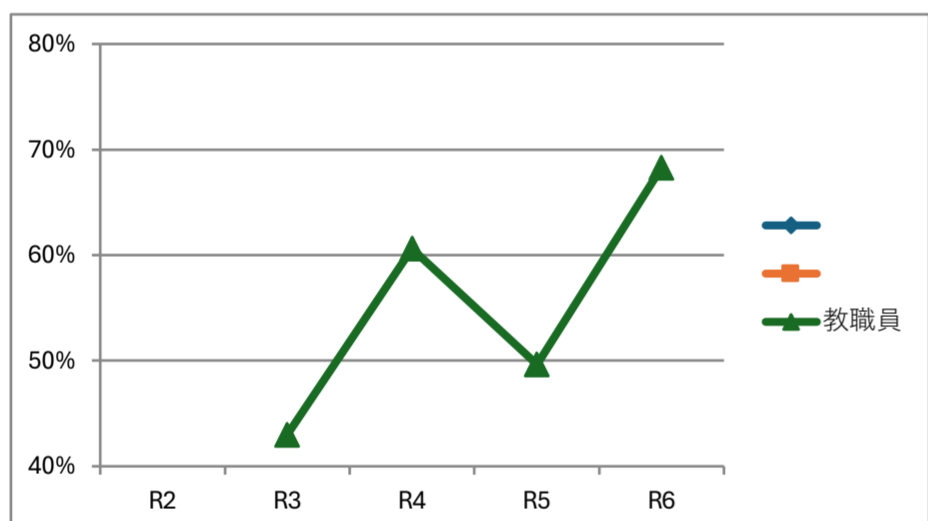
項目30	
全体	19. 保護者 学校は保護者の相談に適切に応じてくれる。 22. 教職員 学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の要望等に応えている。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
保護者		70.0%	70.0%	70.2%	66.7%
教職員		58.9%	65.5%	61.7%	72.4%



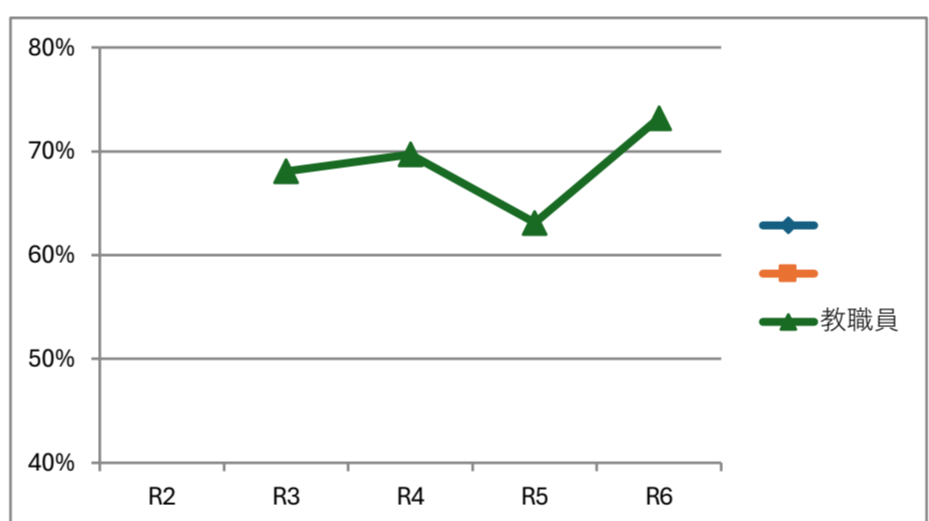
項目31	
全体	23. 教職員 各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員		43.0%	60.6%	49.6%	68.3%



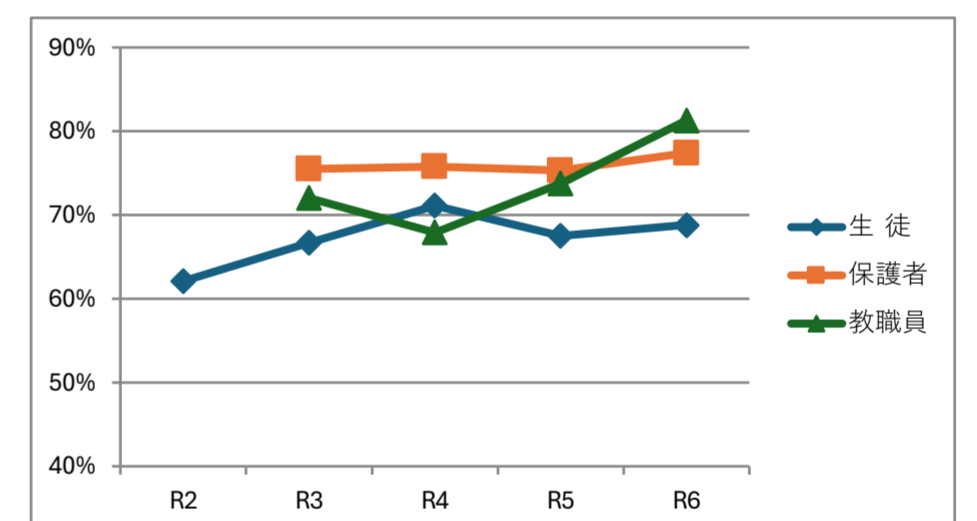
項目32	
全体	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
教職員		68.1%	69.7%	63.1%	73.2%



項目33	
全体	20. 生徒 エンパワメントスクールに入学してよかった。 20. 保護者 エンパワメントスクールに入学させてよかった。 25. 教職員 エンパワメントスクールの趣旨を理解している。

年度	R2	R3	R4	R5	R6	
生徒		62.1%	66.7%	71.1%	67.5%	68.8%
保護者		75.5%	75.8%	75.3%	77.4%	77.4%
教職員		72.0%	67.9%	73.8%	81.3%	81.3%



2. 令和6年度 学校教育自己診断 分析及び考察

項目1, 3, 5について【学校の満足度】

「1. 学校に行くのが楽しい」について、【生徒】63.5%(R5:59.8%)【保護者】63.5%(R5:60.8%)【教職員】62.6%(R5:51.1%)と全て評価が上がっている。
 「3. 授業は分かりやすく楽しい」について、【生徒】62.6%(R5:58.8%)【保護者】55.9%(R5:53.0%)【教職員】72.4%(R5:80.9%)と【生徒】【保護者】の評価が上がっている。一方で教職員は評価が下がっているが、現状に満足せずにさらに改良する探求を持っていると考えられる。※「4. 授業方法などについて検討する位階を積極的に持っている」参照
 「5. 生徒が努力したことを褒めてくれる」について、【生徒】71.3%(R5:68.3%)【保護者】73.3%(R5:72.7%)と全て評価が上がっている。
 ▶わかりやすく楽しい授業展開や、努力を認めて自己肯定感を高めるなど、エンパワメントスクールとして求められる生徒・保護者のニーズと合致してきている。

項目7, 8, 10について【進路支援】

「7. 選択科目には学びたいことが準備されている」について、【生徒】66.2%(R5:64.7%)【保護者】64.4%(R5:63.9%)と共に評価が上がっている。
 「8. 将来の進路などについて考える」について、【生徒】70.3%(R5:68.9%)と数値が上昇している。
 「10. 先生の進路指導はわかりやすい」について、【生徒】68.2%(R5:65.6%)【保護者】66.0%(R5:64.3%)【教職員】71.5%(R5:70.9%)と全て評価が上がっている。
 ▶生徒が将来への目標をはっきりと見定めるための支援を行い、生徒・保護者が求める選択授業を行うことで、生徒のキャリア教育が充実したものになっている。

項目11, 19, 20, 21について【安心安全な学校】

「11. 命の大切さや社会のルールについて学んでいる」について、【生徒】72.5%(R5:69.3%)【保護者】58.7%(R5:55.6%)【教職員】69.9%(R5:62.4%)と全て評価が上がっている。
 「19. 学校では安心して生活ができる」について、【生徒】64.1%(R5:58.9%)と評価が上がっている。
 「20. いじめ等困っていれば先生は寄り添ってくれる」について、【生徒】67.6%(R5:64.6%)【保護者】61.1%(R5:57.8%)【教職員】78.0%(R5:70.9%)と全て評価が上がっている。
 「21. 気軽に相談できる先生がいる」について、【生徒】67.2%(R5:62.3%)【教職員】78.9%(R5:73.8%)と共に評価が上がっている。
 ▶教職員は安心安全な学校づくりに努め、学年やクラスにとらわれずに生徒と接する機会を増やした。生徒は集団生活における他者の尊重の姿勢を身につけ命の大切を学んだ。

項目28, 29, 33について【学校への期待・関心】

「28. 学校のHPを見ることが多い」について、【生徒】38.6%(R5:30.6%)【保護者】52.1%(R5:49.4%)【教職員】63.4%(R5:62.4%)と全て評価が上がっている。
 「29. 家の人に学校のことについてよく話す」について、【生徒】58.5%(R5:57.0%)【保護者】68.1%(R5:65.6%)と共に評価が上がっている。
 「33. エンパワメントスクールに入学してよかった」について、【生徒】68.8%(R5:67.5%)【保護者】77.4%(R5:75.3%)【教職員】81.3%(R5:73.8%)と全て評価が上がっている。
 ▶ホームページを見る生徒の割合こそ低いが、学校に対する興味関心が増しており、充実した学校生活を送れていることで家庭での会話も増えていると考えられる。その結果最後の質問に対し、肯定的な意見が増えていると考えられる。

総括

エンパワメントスクール7年目を迎え、生徒・保護者のニーズとそれに答える教職員の意識が合致してきた傾向がみられる。その結果として、生徒評価に関しては項目16の横ばいを含めると全ての項目において評価が上昇した。さらに、保護者の項目において、概ね生徒の数値とリンクするような上昇傾向を示しており、家庭でのコミュニケーションがしっかりと取れていると推察される。教職員の意識も向上しており結果として全体的に昨年度以上の評価となった。
 今後は生徒の部活動等の参加や保護者の授業参観等への参加など、興味関心の低い分野での数値の上昇に向けて取り組んでいくことにより、学校の更なる活性化へと繋げていきたい。